

令和3年度 第2回 福岡市病院事業運営審議会 議事録

日時

令和4年1月31日（月） 16時00分～16時50分

場所

TKP ガーデンシティ天神 M-4

出席者

別紙のとおり

会議次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議事
 - (1) 会長・副会長の選出について
 - (2) 感染症専門部会からの報告
 - (3) 答申（案）について

議事録

- 1 開会

【事務局】

令和4年度第2回福岡市病院事業運営審議会の開催にあたり、委員総数14名のうち12名の出席があり、病院事業運営審議会規則第7条第3項の規定により会議が成立することを報告。

また、福岡市情報公開条例に基づき、本審議会は原則公開となる旨を報告。

- 2 委員紹介

前回の審議会以降に新たに就任された委員の紹介及び配布資料について確認。

- 3 議事

- (1) 会長・副会長の選出について

【事務局】

今回は委員改選後、最初の審議会となるので、会長及び副会長の選出をお願いしたい。審議会規則第6条第2項の規定により、会長は委員の互選となっているため、推薦をいただきたい。

<推薦なし>

推薦がないので、事務局から、改選前に引き続き会長には平田委員を、副会長には赤司委員をお願いしたいと思うがいかがか。

<異議なし>

<平田委員 会長就任、赤司委員 副会長就任>

(2) 感染症専門部会からの報告

【会長】

「議事2 感染症専門部会からの報告」について、同部会の部会長であった私から報告をさせていただきます。

令和3年10月4日開催の「第1回福岡市病院事業運営審議会」において決定された、福岡市長からの諮問「福岡市民病院における感染症医療について」の検討について、専門部会において慎重に審議を重ねてきた。

市民病院が、新型コロナ感染症禍において重要な役割を担ったことは委員共通の認識であったが、一方で、準備不足であった部分や古い施設であることによる対応の限界などが明らかになった。

報告書の詳しい内容は、このあと事務局から説明をしていただくが、その内容が今後の市民病院における感染症医療の取組みの基礎となるとともに、福岡市全体の感染症医療の強化にもつながることを期待している。

報告書の詳しい内容については、事務局から説明を求める。

【事務局】

<資料3（感染症専門部会 報告書）の説明>

【会長】

この議題については、次の議事3の内容と重なる部分が多いため、質疑については、合わせて行いたいと思うが、いかがか。

<異議なし>

(3) 答申（案）について

【会長】

答申のとりまとめについて、事務局から説明を求める。

【事務局】

<資料4（答申のとりまとめについて）の説明>

なお、本日欠席している委員からの意見を紹介する。

「今後の感染症医療に対応するためには、市民病院の新たな役割とされた地域医療への貢献に特に期待したい。またその対象とする機関として、将来の医療人材を養成する機関も検討してもらいたい。」

「新型コロナウイルス感染症の重点医療機関でもある市民病院には、重症患者を治療する大学病院などの高度な医療機関や、回復後の患者を受け入れる後方支援医療機関の核となって、それぞれの連携を図ってもらいたい。」

【会長】

ただいまの説明について、まずは、進め方についてご意見やご質問をいただきたい。

<意見等なし>

意見がないようなので、事務局から説明のあった資料4に沿って、答申書のとりまとめを進めていく。

はじめに、「2 審議会での審議項目 (1)答申案の構成について」について、感染症専門部会の報告書についての質疑など、ご意見やご質問をいただきたい。

<意見等なし>

次に、「(2)答申案の内容について」、感染症医療において今後の市民病院に期待することや要望したいことなど、自由にご意見、ご質問をいただきたい。

【委員】

よくできているので、これでいいかと思う。

ただ、将来に向けた組織づくりをどうするのかは、工夫しながらやらないといけない。緊急時にすぐに対応できる組織を平時から維持することは難しく、今後、その点は考えていく必要がある。

【委員】

今回の反省を見ても、行政と医師会と個々の病院がしっかり連携し、迅速に動くことが大切だと思った。市民病院の特色として行政に近いということがあるので、これらが迅速に動くことの出来るような連携の構築を、将来的に考えていただきたい。

【事務局】

市民病院は市立病院なので、市としっかりと連携を取る必要があることを再認識した。今後とも市民病院と連携して感染症医療、市内の医療提供体制に貢献をしていきたい。

【委員】

報告書の今後の検討課題、感染症サーベイランスの中で記載されているが、感染の状況に応じて適切に対応するためには、その発生動向を疫学調査の結果も含め、医療機関や地方衛生研究所など他の機関との連携も十分に機能させていくことも重要であると思う。

【委員】

行政との関わりについて皆さんの発言があったが、特に今回のオミクロンのときは、一般医療とコロナ診療のバランスが難しく、一般診療において特に救急医療が逼迫している。

そのため、救急など一般診療の情報共有という意味でも、要の位置に市民病院があるので、今後は、コロナ診療と一般診療とのバランスをどうするのかの情報発信も重要である。

【福岡市民病院】

貴重なご意見をいただき、大いに今後の参考にさせてもらいたい。

情報発信については、情報の提供とともに、市との協議のうえでの情報収集、この2つの機能で、地域に貢献できることがあると思っている。

また救急医療の問題は、私どもも十分にその問題意識を共有しつつ対応している。

【会長】

意見も出尽くしたようなので、質疑・応答は以上で終了させていただく。

なお本日の意見については、私が確認をした上で、答申に反映をするので、答申については私に一任させていただきたいが、いかがか。

<異議なし>

それでは、答申については、私に一任させていただき、本日の意見を反映した答申書で、市へ答申したいと思う。

本日の議事は以上となり、ここからの進行は、事務局にお返しする。

【荒瀬副市長】

<答申とりまとめへのお礼>

閉会